

看護・介護とセラピストの連携
について
～アンケート調査を実施して～

稲次整形外科病院 稲次整形外科病院
回復期リハビリテーション病棟
○鈴江春代 堀江和枝

はじめに

稲次整形外科病院(以下当院)では看護・介護スタッフとセラピストの連携ができていないとの意見があり、情報伝達が十分に行えておらず、介助方法も統一できていなかった。

現状改善を図ることを目的とし、看護・介護スタッフ、セラピストの連携に対する意識調査を行った。

方法

【対象者】

当院回復期リハビリテーション病棟に1年以上勤務する看護・介護スタッフ、セラピスト

【実施期間】

平成23年～24年の5月・11月に、6項目のアンケート調査を3回実施。

アンケート項目

1. 他職種間で連携はできているか
2. 受け持ち患者の自分以外の担当を全員把握しているか
3. ウォーキングカンファレンスについて
4. 他職種の記録について
5. 勤務形態の把握について
6. 互いへの要望

以上の項目から、

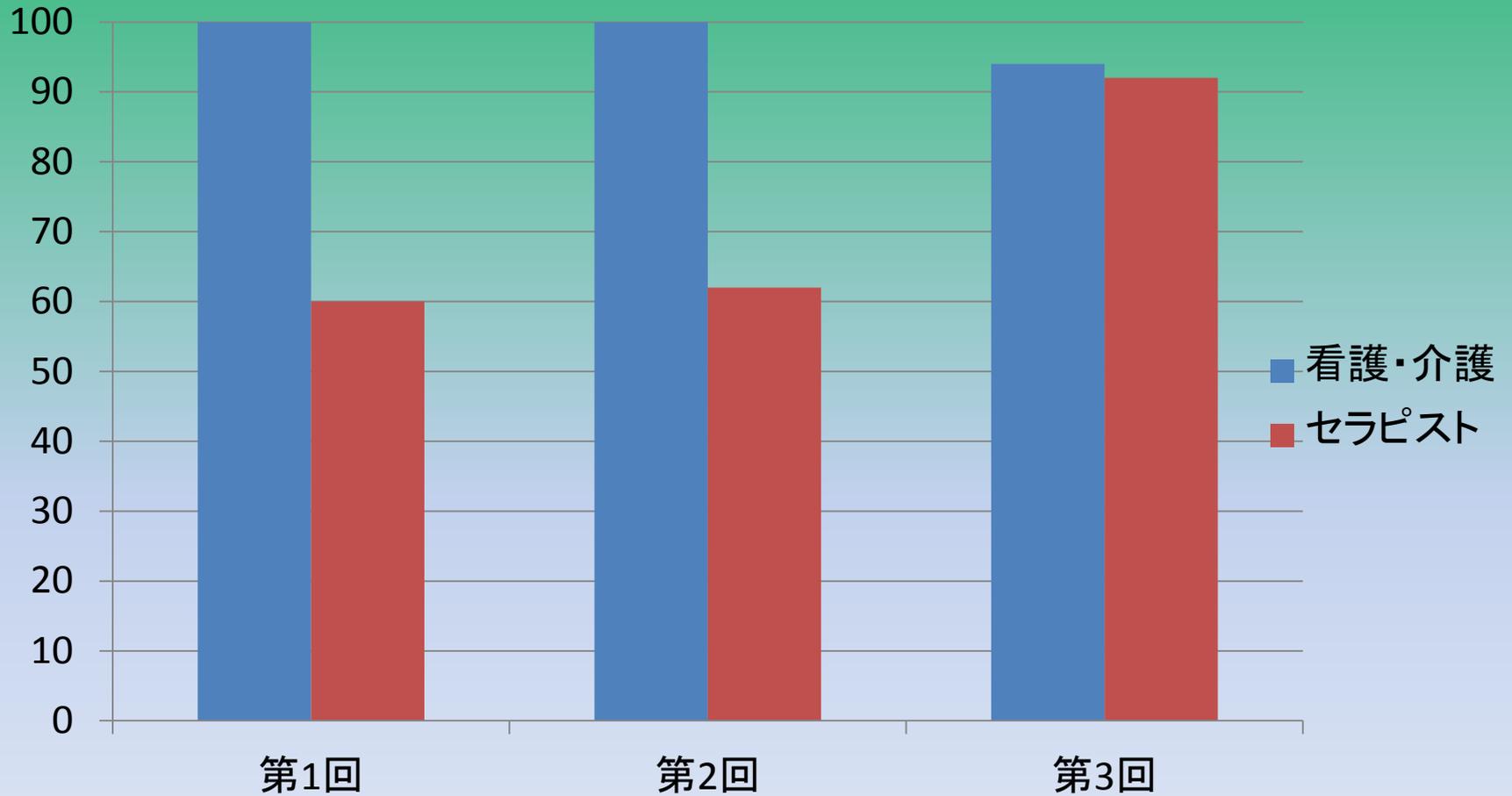
(1)他職種間は連携できているか、

(2)ウォーキングカンファレンスの他職種との
実施

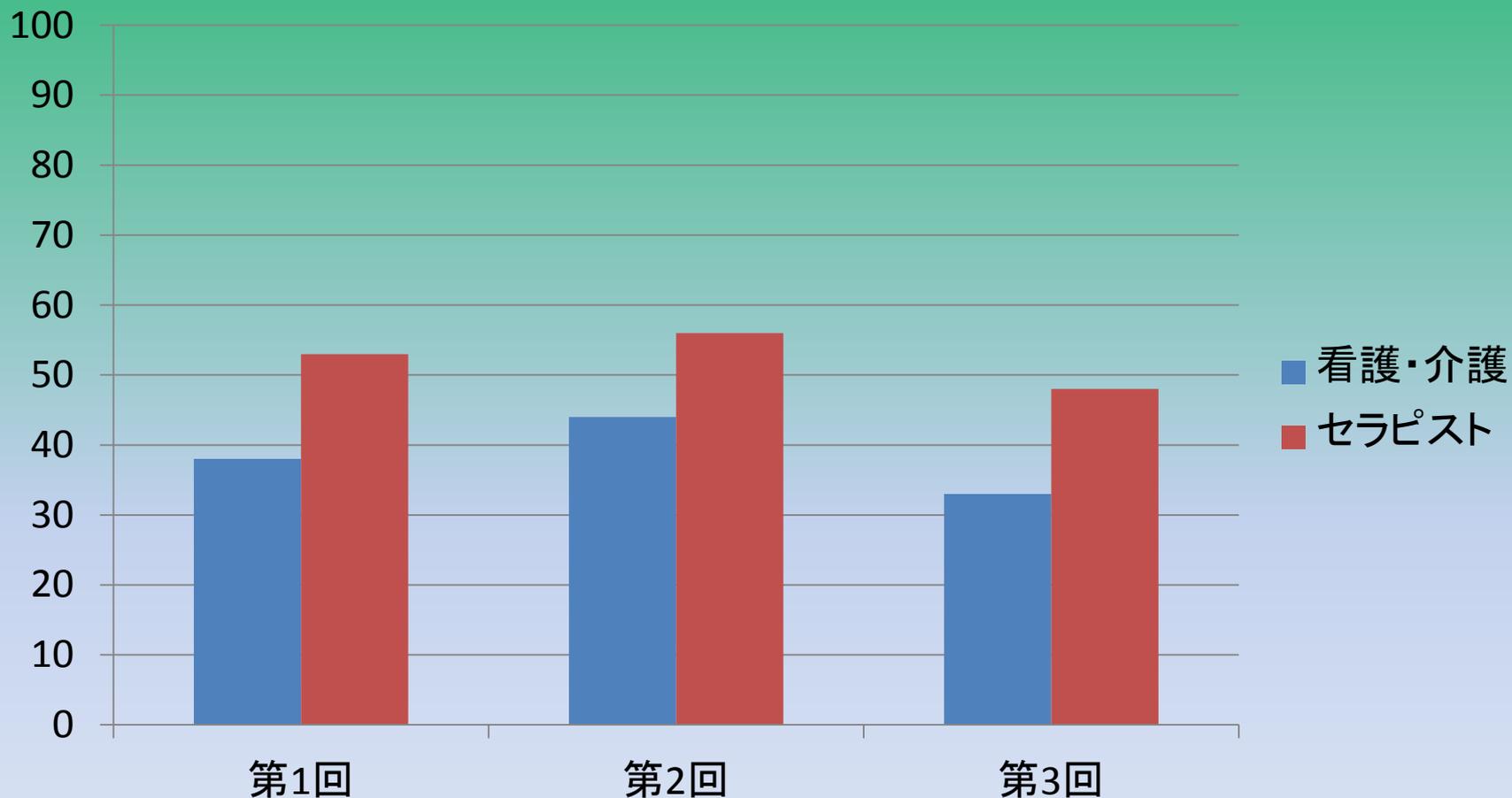
(3)互いへの要望

の3項目について報告する。

回収率

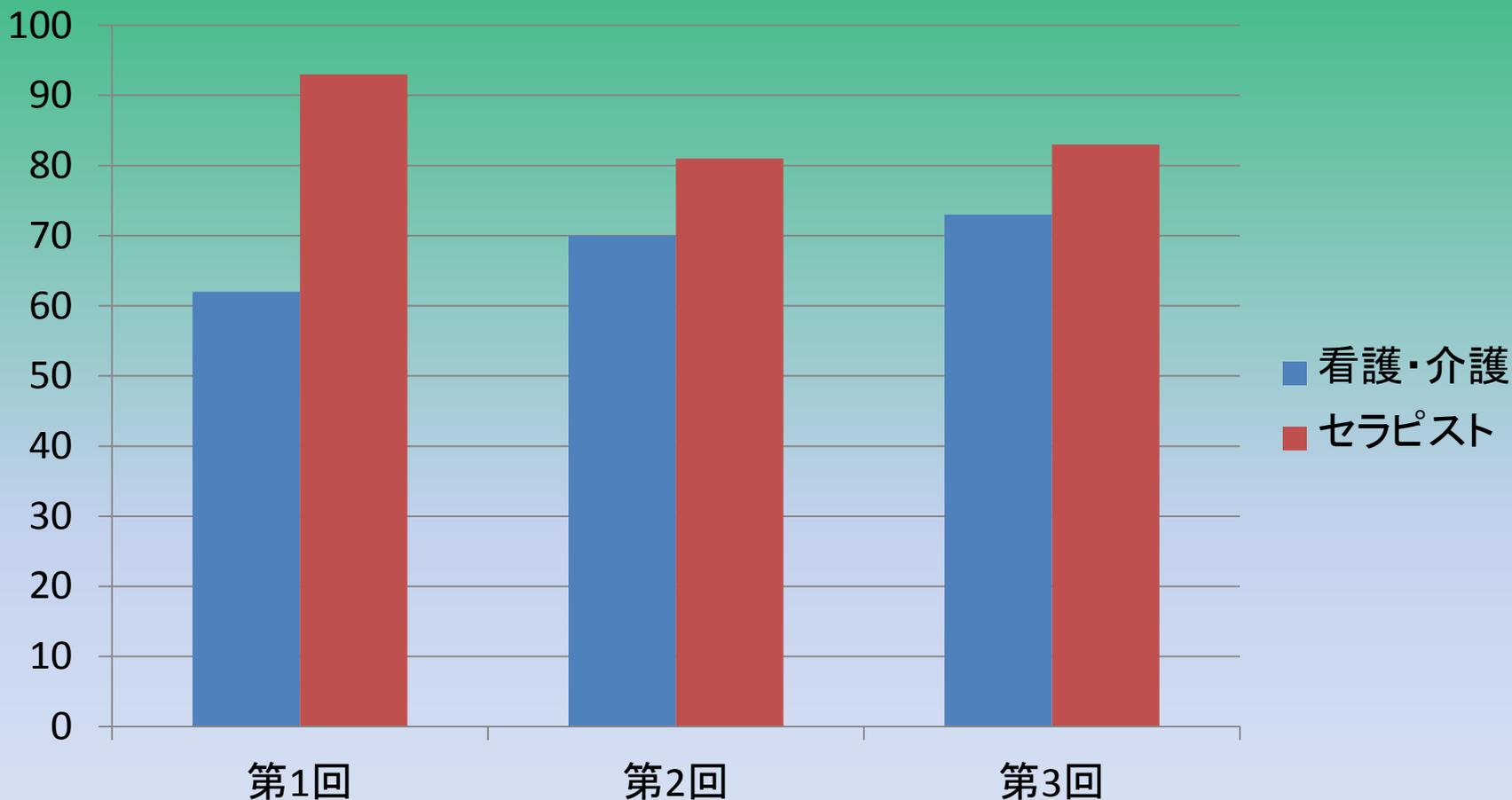


他職種間で連携はできているか



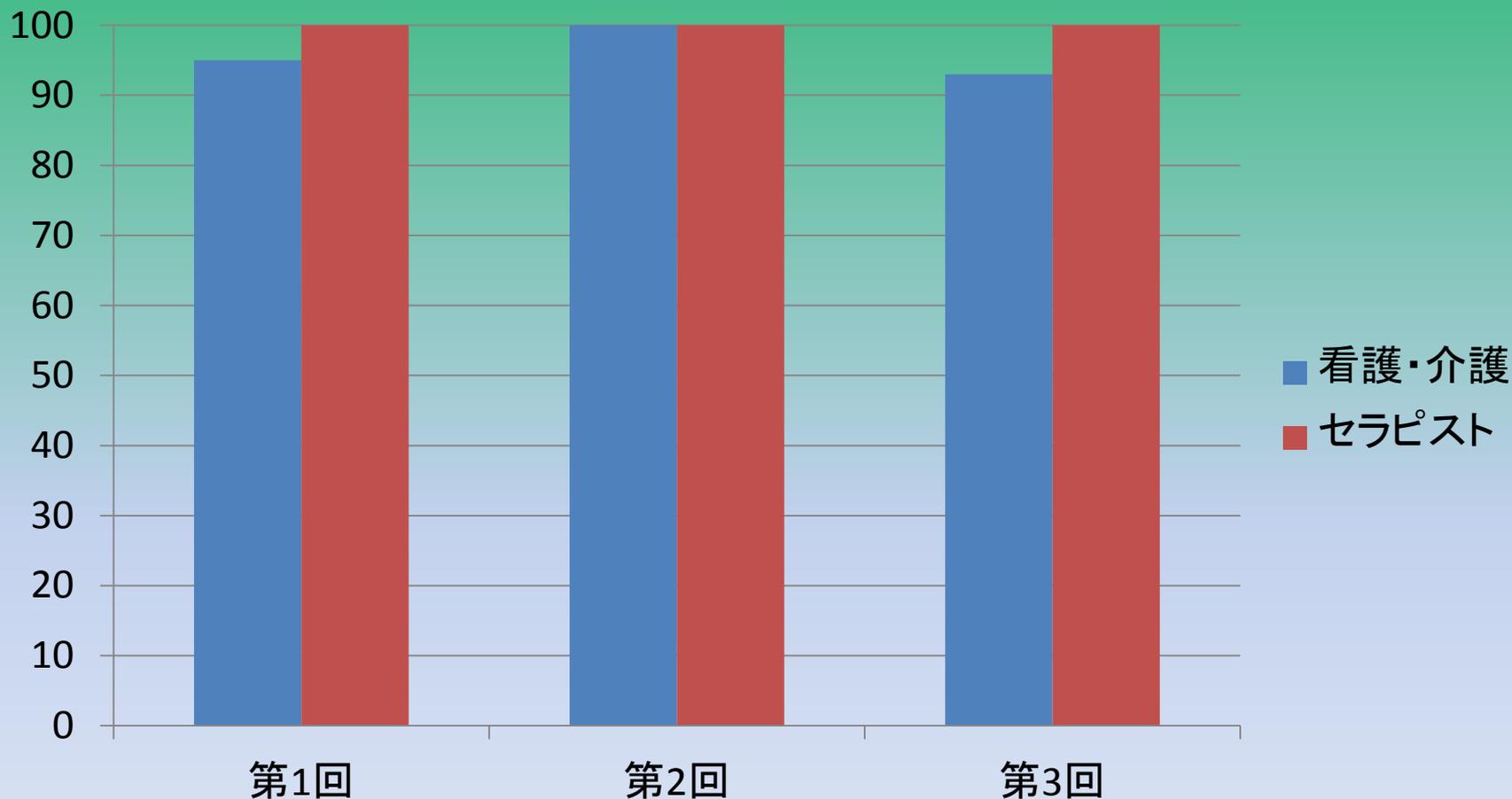
ウォーキングカンファレンスについて

①他職種と行ったことがあるか



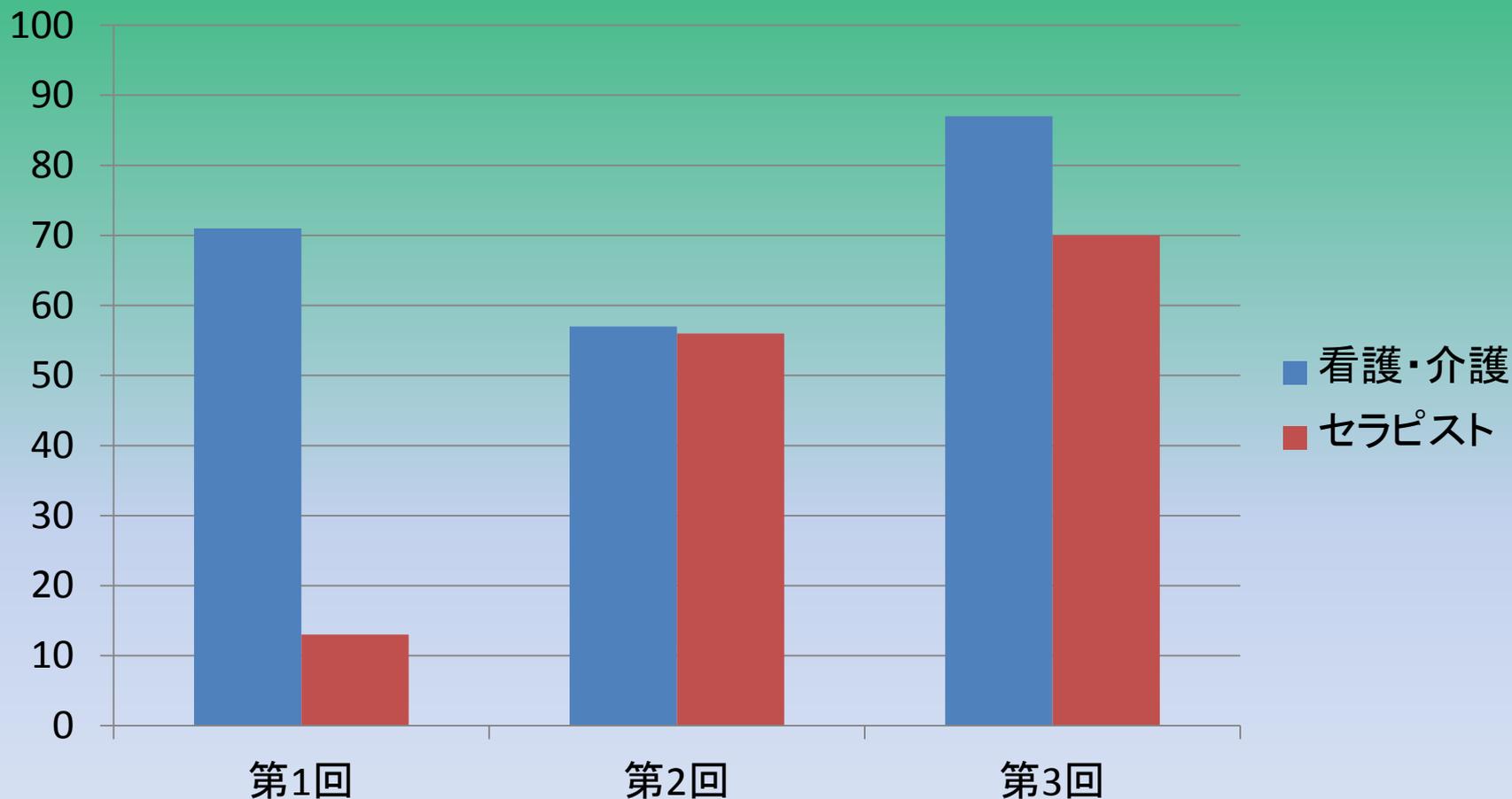
ウォーキングカンファレンスについて

②必要性はあるか



ウォーキングカンファレンスについて

③記録したことはあるか



互いへの要望

【看護・介護スタッフよりセラピストへ】

- ナースコール対応をしてほしい
- リハビリ時間と入浴時間のスケジュール調整を確実に行ってほしい
- セラピストの更衣訓練・入浴訓練への介入を増やして欲しい

互いへの要望

【セラピストより看護・介護スタッフへ】

- 患者の病棟での生活状況をもっと知りたい
- 介助方法の統一ができていない
- 看護・介護の受け持ち制が十分機能しておらず誰に相談したらいいかわからない
- 受け持ち患者のことをもっと知って欲しい

互いへの要望

【共通の要望】

- ウォーキングカンファレンスの機会を増やしたい
- 情報伝達を確実に行っていきたい

アンケート調査結果公表への反応

【看護・介護スタッフ】

- 改善への積極的姿勢
- 受け持ち表の表示
- 看護・介護スタッフの週間勤務予定表をセラピストに渡す
- セラピスト業務の流れについてセラピストの協力を得、説明会を実施

アンケート調査結果公表への反応

【セラピスト】

- 第1回アンケート結果について業務改善の話し合いがもたれた
- 第3回実施後はアンケート結果への感想をセラピスト側から直接聞くことができた
- リハビリテーション部課長からのコメントもあった

アンケート調査結果公表への反応

【共通の反応】

- 受け持ち患者に対するウォーキングカンファレンスも徐々に増え、3回のアンケート調査を通じて看護・介護スタッフとセラピストの連携を深めていこうとする意識が高まったと感じられた。

まとめ

【改善点】

- 互いのコミュニケーション不足
- 情報共有の不足

互いの見方、考え方を知り、スタッフ間の連携を深められるよう改善していきたい。

参考文献

- 1) 落合芙美子監修, 他: ナーシングアプローチ
リハビリ看護, 桐書房, 2001.
- 2) 石鍋圭子, 野々村典子編集代表, 他: 専門
性を高める継続教育 リハビリテーション看護
実践テキスト, 医歯薬出版株式会社, 2008.
- 3) 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議
会, 第17回 研究大会in長崎 プログラム・抄録
集, 2011